

● ジェネラルパウゼ

「3.海—かん声をあげて」の中に、//:short G.P. という表示が見られます。これはジェネラルパウゼ(Generalpause[独])と言って、全部の休止という意味です。

“多くの楽器のための作品、とくに管弦楽作品で突然楽曲の流れを止めて全部の楽器が長く休むことである。略して G.P.と書く。(音楽之友社 標準音楽辞典)”

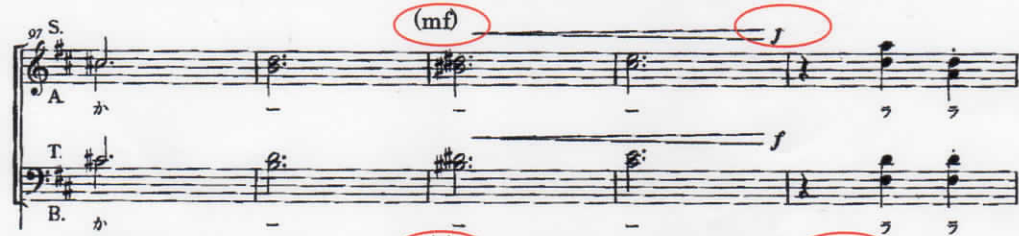
合唱の場合は、伴奏も含めて全ての声部の休止ということになります。一般に G.P.は上記の説明のように長く休むので、ここでは短い休みで演奏してほしいために、short G.P.と表したのでしょう。聴く側の緊張感もこの瞬間に高まりますから、次のフレーズが聴かせどころというところでしょうか。

● クレッシェンド : crescendo[伊] : 「3.海—かん声をあげて」より例示

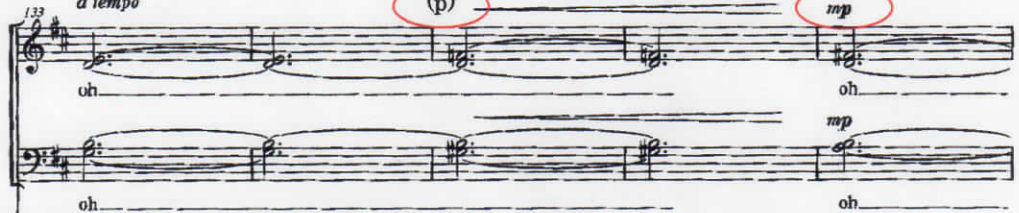
しだいに強くするの意味で、記号として  を用い、cresc.と略すことは説明するまでもないでしょう。でも、この見慣れた cresc.を正確に歌うにはかなりの集中力が必要です。

例1は2小節の間に mf から fまで、例2は2小節の間に p から mp までしだいに強くします。

例1
P.21



例2
P.24



ワンポイント:cresc.の歌い方

・cresc.の始点の位置と強さ、そして終点の位置と強さを認識しておきましょう。

暗譜のときも忘れないで下さい。

・音が次第に上昇するとき(例1の高温声部)は、まだ cresc.の始点が来ないうちから強く歌ってしまう傾向にありますので注意しましょう。2015.8.23 付ワンポイントレッスン参照。 兼崎

【雑学コーナー】

三日月は新月から3日目の月で、だんだん大きくなります。三日月は英語でクレセント(crescent)と言います。仏語のクロワッサン(croissant)、伊語のクレッシェンド(crescendo)も同じ語源です。つまり、音楽用語クレッシェンドの語源はだんだん大きくなる三日月だったという訳です。安野光雅著「忙中閑語」を参照しました。